

令和3年度（上期）観光入込み数 増減要因

1 令和3年度（上期）の観光入込み数について

令和3年度（上期）の観光入込み数は **946,137 人** で、56,503 人の減（前年比 94.4%）となった。

【内訳】〔宿泊者数〕	29,868 人	1,027 人の増	（前年比 103.6%）
〔日帰り客数〕	916,269 人	57,530 人の減	（前年比 94.1%）

2 増減要因の総括について

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年上期（4月～9月）は、5～6月、8月～9月にかけて緊急事態宣言の発令、6月～7月においては、まん延防止等重点措置が発令され、各所で外出を避けるよう呼び掛けていたことにより、波及的に様々な業種で人流が減少し、全体的に入込が減少した事業者は多くなった。

一方、密にならずに屋外で楽しめるアウトドア・キャンプの人气が全国的に高まっているため白老地区の「スポーツ・レクリエーション」の入込が前年比105.8%に増加した。

全体としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が発令されていた9月の入込客数は、様々な業種において、昨年と比較して大きく減少したため、前年比94.4%の946,137人の入込客数を記録した。

3 地区別の主な増減要因

虎杖浜温泉地区（竹浦・虎杖浜地区）

虎杖浜温泉地区の全体の観光入込み数は **362,553 人** で、38,520 人の減（前年比 90.4%）となった。

【虎杖浜温泉地区の増加要因】

「宿泊（ホテル・旅館・民泊）」 25,858 人 779 人の増（前年比 103.1%）

- 新たな民泊の開業や湯治の利用が増えたため増加した。

【虎杖浜温泉地区の減少要因】

「日帰り（ホテル・旅館）」 64,350 人 2,952 人の減（前年比 95.6%）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用客数が減少した。

「飲食店・みやげ」 172,232 人 11,341 人の減（前年比 93.8%）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用客数が減少した。

「自然景観」 80,607 人 20,784 人の減（前年比 79.5%）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、倶多楽湖等の利用客数が減少したため。

「スポーツ・レクリエーション」 19,482 人 4,226 人の減（前年比 82.2%）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、パークゴルフ場等利用者が減少したため。

白老地区（社台～北吉原地区）

白老地区の全体の観光入込み数は **583,584 人** で、17,983 人の減（前年比 97.0%）となった。

【白老地区の増加要因】

- 「スポーツ・レクリエーション」41,356 人 2,269 人の増（前年比 105.8%）
全国的に密にならずに楽しめるアウトドアやキャンプの人気の高まっていることにより、増加した。

【白老地区の減少要因】

- 「自然景観」 7,387 人 3,164 人の減（前年比 70.0%）
新型コロナウイルス感染症の影響やヒグマの出没により、一時的に施設を休館したことにより減少した。
- 「文化・歴史」 84,960 人 21,536 人の減（前年比 79.8%）
新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に施設を休館したことにより減少した。
- 「体験・ツーリズム」 1,322 人 2,391 人の減（前年比 35.6%）
新型コロナウイルス感染症の影響により、教育旅行などが中止または延期したため、減少した。

4 訪日外国人観光客の増減要因

「宿泊客数」 5 人 32 人の減（前年比 13.5%）

「日帰り客数」 83 人 94 人の減（前年比 46.9%）

新型コロナウイルス感染症の影響により、国際的な人の往来が制限されているため、今年度の訪日外国人の入込については、在留外国人と推測され、成田空港、羽田空港においても多くの国際定期便の運行が運休になり、新千歳空港においては、国際定期便の運行が全てなくなったことが起因し、宿泊客数は 5 人となっている。

5 過去 5 年間の上期入込客数の推移

平成 29 年度	1,042,910 人	（ ▲ 23,101 人	前年比	97.8%）
平成 30 年度	922,195 人	（ ▲120,715 人	”	88.4%）
令和元年度	979,034 人	（ + 56,839 人	”	106.2%）
令和 2 年度	1,002,640 人	（ + 23,426 人	”	102.4%）
令和 3 年度	946,137 人	（ ▲ 56,503 人	”	94.4%）